

「福岡ミュージアムウィーク2021」期間中は、通常の展示に加え、講演会、ワークショップなどの特別なイベントが開催されます。ふるってご参加ください。イベント情報につきましては、ホームページをご確認ください。(随時更新)

01



(住所) 〒814-0001 福岡市早良区百道浜3-1-1  
 (電話) 092-845-5011 (FAX) 092-845-5019  
 (開館時間) 9:30~17:30 (入館は17:00まで)  
 (休館日) 月曜日  
 (HP) <http://museum.city.fukuoka.jp/>



ミュージアムウィーク  
 期間中  
 (休館日を除く)

常設展示室・  
 企画展示室  
 観覧料無料

福岡市博物館は、平成2年(1990)10月、地域の歴史と民俗を研究・展示する博物館として開館しました。常設展示室、企画展示室(1~4)、特別展示室の各室をそなえ、アジアとの人・もの・文化の交流がもたらしてきた特色ある歴史と、そこに生きる人びとの暮らしをさまざまなかたちで発信しています。



オンラインコンテンツ

### おうちDE楽しめる3D福岡市博物館!

市博おすすめの名品を3Dで公開。スマホ、タブレットの利用でAR画像も♪  
 (URL) <http://museum.city.fukuoka.jp/topics/3d-museum/>

### おうちDE福岡市博物館!

博物館観覧やワークショップをおうちで楽しめるコンテンツがたくさん。  
 (URL) <http://museum.city.fukuoka.jp/topics/ouchi-museum/>

02



(住所) 〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6  
 (電話) 092-714-6051 (FAX) 092-714-6071  
 (開館時間) 9:30~17:30 (入館は17:00まで)  
 (休館日) 月曜日  
 (HP) <https://www.fukuoka-art-museum.jp/>



ミュージアムウィーク  
 期間中  
 (休館日を除く)

コレクション展示  
 無料

福岡市美術館は、重要文化財を含む茶道具、仏教美術のほか、九州出身の近代洋画家、ミロ、ダリ、ウォーホルをはじめとする20世紀の作家の作品、さらには現代美術作品まで、世界的な名品を含む約16,000点の幅広いコレクションを収集・保存しています。これらのコレクションを核とした多彩な展示会を開催するとともに、子どもから高齢者までアートに触れる楽しさを伝える教育普及プログラムにも積極的に取り組んでいます。



オンラインコンテンツ

### 美術館のおすすめ紹介

5月18日(火)~30日(日)随時更新

当館のおすすめスポットや作品を、スタッフやボランティアが紹介します。

(URL) <https://www.youtube.com/channel/UCWtJrlwzxOiy5v0fYlK7drQ>

### オンラインギャラリーツアー

5月18日(火)、22日(土) 11:00~11:30

所蔵作品を、参加者と対話をしながらオンラインで紹介いたします。

(媒体) Zoom (定員) 各5人

(申込) 件名にイベント名を書き、メール本文に参加者のお名前・年齢・お電話番号・希望日・メールアドレスをご記入の上、  
[workshop@fukuoka-art-museum.jp](mailto:workshop@fukuoka-art-museum.jp)へ申込。  
 5月10日(月)締切

03



(住所) 〒812-0027 福岡市博多区下川端町3-1  
 リバレイセンタービル7・8階  
 (電話) 092-263-1100 (FAX) 092-263-1105  
 (開館時間) 開館時間 9:30~19:30(金曜・土曜は20:00まで)  
 観覧時間 9:30~18:00(金曜・土曜は20:00まで)  
 ※ギャラリー入室は閉室30分前まで  
 (休館日) 水曜日  
 (HP) <https://faam.city.fukuoka.lg.jp/>



ミュージアムウィーク  
 期間中  
 (休館日を除く)

コレクション展  
 観覧料無料

世界に唯一、アジアの近現代美術の専門館福岡アジア美術館は、アジアの近現代美術作品を系統的に収集し展示する美術館です。質量ともに広範な領域と時代を網羅するユニークなコレクションの魅力に出会うことができます。



オンラインコンテンツ

### おうちでコレクション展

ぜひ観ていただきたい、現在アジアギャラリーに展示中の所蔵品を紹介します。

(URL) [https://www.instagram.com/fukuoka\\_asian\\_art\\_museum/](https://www.instagram.com/fukuoka_asian_art_museum/)

### ✂️おうちであそぼう!

ダウンロードしておうちであそんでいただけるカルタやぬりえ、レジデンス・アーティストによるおうちでできる作品づくりの方法をご紹介します。

(URL) <https://faam.city.fukuoka.lg.jp/topics/10313/>

04



(住所) 〒810-0001 福岡市中央区天神5-2-1  
 (電話) 092-715-3551 (FAX) 092-715-3552  
 (開館時間) 10:00~18:00(入館は17:30まで)  
 (休館日) 月曜日  
 (HP) <https://fukuoka-kenbi.jp/>



ミュージアムウィーク  
 期間中  
 (休館日を除く)

コレクション展I  
 (5/18~5/23)、  
 コレクション展II  
 (5/29~5/30)は  
 入場無料



高島野十郎「蠟燭」  
 福岡県立美術館蔵

福岡市天神の須崎公園内に建つ福岡県立美術館は、福岡県ゆかりの作家を中心に収蔵しています。当館の一押しは久留米出身の洋画家・高島野十郎。来館された方にいつでもご覧いただけるよう、4階に特設コーナーを設けて「蠟燭」など数点を紹介しています。(5月25日(火)から28日(金)まで、展示替えのためコレクション展会場はお休みですが、野十郎特設コーナーはご覧いただけます。)



オンラインコンテンツ

### 福岡県立バーチャル美術館

野十郎の名作40点等を高精細画像と詳しい解説によりこころゆくまで堪能いただけます。  
 (URL) <https://virtualmuseum.fukuoka-kenbi.jp/>

### 「edukenbi(えでゅけんび)」

子どもたちが当館収蔵品を使いながら楽しく学習できます。  
 (URL) <https://edukenbi.fukuoka-kenbi.jp/>

05

### 福岡市埋蔵文化財センター

(住所) 〒812-0881 福岡市博多区井相田2-1-94  
 (電話) 092-571-2921 (FAX) 092-571-2825  
 (開館時間) 9:00~17:00(入館は16:30まで)  
 (休館日) 月曜日  
 (HP) <https://www.city.fukuoka.lg.jp/maibun/html/>



入館料無料  
 (常時)

遺跡から発掘調査で掘り出された出土品を保管・管理する施設です。海を通じて大陸や日本各地と交流しながら発展してきた福岡市には、1000を超える遺跡があります。展示室では出土品を公開しているだけでなく、発掘調査のことや考古学の基礎知識についても学ぶことができます。



オンラインコンテンツ

### みんなでMYBUN!

公式動画チャンネルです。収蔵品やバックヤードを随時ご紹介します。  
 (URL) <https://www.city.fukuoka.lg.jp/keizai/maibun-c/life/mybun-doga.html>



(住所) 〒812-0039福岡市博多区冷泉町6-10  
 (電話) 092-281-7761 (FAX) 092-281-7762  
 (開館時間) 10:00~18:00(入館は17:30まで)  
 (休館日) 第4月曜日(祝休日の時は翌平日)  
 (HP) <http://www.hakatomachiya.com/>

ミュージアムウィーク  
 期間中  
 (休館日を除く)

当リーフレット  
 持参により  
 入館料を割引  
 (団体料金適用)



伝統文化が息づく博多を紹介する福岡市の観光施設。博多織や博多人形など伝統工芸の職人の技を身近でご覧いただけます。第24回を迎える博多町家思い出図画展は、毎年懐かしい思い出の絵が沢山集まり、その絵の前で、ご自分の思い出も広がっていく、そんな光景が見られ、とても心穏やかな展示会です。ご自身の思い出の引き出しを開け、是非お越しください。



(住所) 〒814-0001福岡市早良区百道浜3-1-1 2階  
 (電話) 092-409-5450 (FAX) 092-409-5460  
 (開館時間) 9:30~17:30(入館は17:00まで)  
 (休館日) 月曜日  
 (HP) <http://hakata-dentou-kougeikan.jp>



ミュージアムウィーク  
 期間中  
 (休館日を除く)

縁起くじ  
 はかた伝統工芸館  
 オリジナル  
 グッズが  
 当たるくじ

福岡を代表する伝統的工芸品である「博多織」「博多人形」の先人たちの貴重な作品や現代の作家による優れた作品を紹介。その他、福岡・博多に縁のある特産民芸品などの作品も紹介。企画展示室では、伝統工芸作家による作品展やワークショップなどが楽しめ、常に新しい情報を発信しています。販売コーナーでは、工房に行かないと手に入らない作品などをセレクトして販売。伝統工芸品の「イッピン」が揃っています。



(住所) 810-8660福岡市中央区地行浜2-2-6  
 BOSS E-ZO FUKUOKA 4階  
 (電話) 092-400-0515(お客様サポートセンター10~17時)  
 (開館時間) 平日11:00~20:00/土日祝10:00~20:00  
 (全日ともチケット購入19:15、入館は19:30まで)  
 (休館日) なし  
 (HP) <https://e-zofukuoka.com/>



ミュージアムウィーク期間中(休館日を除く)

リーフレットを  
 3Fインフォメーションにご提示で  
 大人200円引き 小人100円引き

王貞治ベースボールミュージアムには、野球人・王貞治の歴史と魅力を伝える「ヒストリーゾーン」と、

打つ・投げる・捕る・走るなど様々なチャレンジが  
 楽しめ、プロ野球選手のスピードとパワーにも挑戦  
 できる体験型アトラクション「89パーク」があります。  
 大人から子供まで全世代が楽しめます。



(住所) 〒812-8581福岡市東区箱崎6-10-1  
 (電話) 092-642-4252 (FAX) 092-642-4299  
 (開館時間) 10:00~17:00  
 (休館日) 土・日・祝日  
 (HP) <http://www.museum.kyushu-u.ac.jp/>



臨時  
 休館中

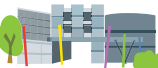
九州大学の研究や教育の過程で収集された、膨大な学術資料や教育資産を管理する総合研究博物館です。自然科学系資料から考古遺物や記録史料まで多岐にわたる資料が約145万点所蔵されており、箱崎キャンパス保存地区正門前にある旧工学部本館3階にある常設展示室でその一部を公開しています。



オンラインコンテンツ

九大博20年ものがたり

子どもたちが当館収蔵品を使いながら楽しく学習  
 できます。  
 (URL) <http://www.museum.kyushu-u.ac.jp/kyudaihaku20th/index.html>



(住所) 〒813-8503福岡市東区松香台2-3-1  
 (電話) 092-673-5160 (FAX) 092-673-5757  
 (開館時間) 10:00~17:00(入館は16:30まで)  
 (休館日) 月曜日(5月24~30日は休館)  
 (HP) <https://www.kyusan-u.ac.jp/ksumuseum/>



ミュージアムウィーク期間中  
 (休館日を除く)

入館料無料、  
 来館者プレゼント

九州産業大学では、芸術学部を中心に美術、工芸、デザイン、写真など多くの美術品を収集してきました。本学が有する「ひと・もの・こと」を活用しながら、展示会だけでなく、地域の方々を対象としたワークショップなどを実施し、地域の文化芸術振興に努めています。

期間中は、第30回九州産業大学美術館所蔵品展「face」を開催します。所蔵品の中から、顔が登場する作品を展示します。芸術家が作品に込めた思いや、作品にまつわるエピソードとともにご紹介いたします。



(住所) 〒814-8511福岡市早良区西新3-13-1  
 (電話) 092-823-4785 (FAX) 092-823-4786  
 (開館時間) 10:00~18:00(入館は17:30まで)  
 (休館日) 日曜日  
 (HP) <http://www.seinan-gu.ac.jp/museum/>



ミュージアムウィーク  
 期間中  
 (休館日を除く)

過去展覧会図録  
 (対象:100円のもの)を  
 一冊プレゼント

キリスト教の文化をテーマに、常設展示室では古今東西のキリスト教関連資料を展示しています。キリスト教の母体であるユダヤ教のジュダイカ・コレクションやランプなどの考古資料。キリスト教の聖書写本をはじめとした装飾写本。東方正教会のイコンや非西欧圏のキリスト教美術。そして、日本キリスト教史の貴重な資料であるマリア観音像や魔鏡などを展示しています。「福岡県指定有形文化財」でもある本館は赤煉瓦造りを特徴としています。また、大学キャンパス内には元寇防塁の遺跡や聖書植物園もあり、福岡の歴史や聖書の世界をお楽しみいただけます。



(住所) 〒810-0001福岡市中央区天神1-7-11イムズ8階  
 (電話) 092-733-2050 (開館時間) 10:00~20:00  
 (休館日) イムズの休館日に準拠  
 (5月17~21日は設営期間のため休館)  
 (HP) <http://artium.jp>

ミュージアム  
 ウィーク  
 期間中  
 (休館日を除く)



展示会に入場し、  
 リーフレットをご持参した方へ、  
 アルティウムオリジナルレターセットを  
 プレゼント(数に限りがあります)

1989年4月から三菱地所の文化支援事業の一環として、現代の様々な芸術表現を、既成の評価、ジャンルにとらわれないこと紹介・発信しているギャラリーです。併設するアートショップでは、展示会企画商品のほか、書籍やグッズを多数ご用意しております。



(住所) 〒819-0012福岡市西区能古522-2  
 (電話) 092-883-2887 (FAX) 092-883-2881  
 (開館時間) 10:00~17:00(入館は16:30まで)  
 (休館日) 月~木曜日の平日(※ミュージアムウィーク期間中は全日開館)  
 (HP) <https://nokonoshima-museum.or.jp/>



ミュージアムウィーク  
 期間中  
 (休館日を除く)

オリジナル  
 ポストカード  
 進呈

博多湾に浮かぶ島の博物館。丘陵の中腹にたたずむ能古博物館からの眺望は必見。郷土の学者、亀井南冥(金印鑑定者)とその一族五世代にわたる資料の収集展示。江戸時代、日本全国を舞台に活躍し、島興隆の源となった「筑前五ヶ浦廻船」・館庭にある「能古焼古窯跡」で焼かれた出土品や島の歴史の紹介。又、博多湾周辺の豊かな海の史実を常設展示。男女14人のオリンピック出場選手を生み出したヨット界の歴史・地元出身、牛島竜介青年史上初の太平洋単独ヨット往復航海と、単独ヨット世界一周に成功した模様を展示。





(住所) 〒810-0037福岡市中央区南公園1-1  
 (電話) 092-531-1968 (FAX) 092-531-1996  
 (開館時間) 9:00~17:00 (入館は16:30まで)  
 (休館日) 月曜日  
 (HP) <http://zoo.city.fukuoka.lg.jp/>  
<http://botanical-garden.city.fukuoka.lg.jp/>



ミュージアムウィーク期間中(休館日を除く)

### リーフレット持参で入園料を2割引

昭和28年に開園した福岡市動物園は、ライオン、トラ、キリンなどの人気動物をはじめ、約110種、450点の動物を飼育しています。平成30年にオープンした動物情報館(ズーラボ)には、デジタルコンテンツを使った展示、動物に関する質問や相談ができる動物デスク、動物に関する書籍がある「ライブライリーコーナー」があり、動物にもっと詳しくなれます。

福岡市植物園は、福岡市内の中心に位置し、花と緑にあふれる都会のオアシスです。

園内には約2,600種、20万本の植物を展示しており、約280種1,300株のバラ園や約500㎡の大花壇など、見どころがいっぱい。

また、各種イベントをはじめ、展示会、園芸講座などを開催しているほか、見頃の植物のご案内や窓口とお電話での緑の相談を行っており、楽しみながら学べる植物園となっています。



#### オンラインコンテンツ

#### オンライン一人一花サミット

3Dバーチャル植物園や一人一花サミットチャンネルなど、花と緑についてのコンテンツを楽しめます。

(URL) <https://hitorihitohana.online/>



(住所) 〒814-0001福岡市早良区百道浜3-7-1  
 福岡市総合図書館内ギャラリー  
 (電話) 092-852-0606 (FAX) 092-852-0609  
 (開館時間) 平日・土曜日 10:00~19:00  
 日曜日・休日 10:00~18:00  
 (休館日) 月曜日  
 (HP) <http://toshokan.city.fukuoka.lg.jp/literatures/>  
<https://fukuokabungakukan.com/>



入館料無料  
(常時)

百道浜にある「福岡市総合図書館」が実施する文学館事業です。ゆかりの文学に関する資料を収集し、1階ギャラリーで常設展示や年1回の企画展示などを通じて福岡の文学資産を皆様にご紹介しています。

期間中は、常設展示「冴えの一人一歌人・長塚節」を開催。喉頭結核の治療のため来福した歌人長塚節(ながつか・たかし)を取り上げ、その生涯と歌についてご紹介いたします。



(住所) 〒812-0068福岡市東区社領2-14-28  
 (電話) 092-621-8989 (FAX) 092-629-3376  
 (開館時間) 10:00~17:00 (入館は16:30まで)  
 (休館日) 火曜日  
 (HP) <https://117hakahaku.com/>



ミュージアムウィーク  
期間中  
(休館日を除く)

入館料を  
お支払いの方に  
お一人様一個  
ふくやオリジナル  
BOXティッシュ  
プレゼント

福岡・博多の観光の楽しみを一同に体験することのできる「博多の食と文化の博物館」ハクハク。

「見る」「学ぶ」「体験する」「食べる」「買う」と、いろいろな知的体験と福岡・博多の食や文化が短時間で体験できる施設です。ミュージアムでは「祭」「食」「工芸」の魅力を映像やゲームを交えながら紹介しております。

### 味楽窯美術館



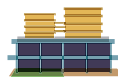
(住所) 〒814-0011福岡市早良区高取1-26-62  
 (電話) 092-821-0457 (FAX) 092-823-1899  
 (開館時間) 10:00~17:00 (休館日) 日・祝  
 (HP) <http://takatori-yaki.jp/museum/>



入館料無料  
(常時)

「高取焼味楽窯」は、黒田藩の御用窯として、約400年前に開窯した茶陶の窯です。七色の釉薬を用い、薄造りの口当たりの良い焼き物です。手に取ってご覧ください。

### 福岡女子大学美術館



(住所) 〒813-8529福岡市東区香住ヶ丘1-1-1  
 (電話) 092-692-3202 (FAX) 092-692-3220  
 (開館時間) 9:00~20:00 (土曜日は17:00まで)  
 (休館日) 日祝祭日  
 (HP) <http://www.fwu.ac.jp/museum/>



入館料無料  
(常時)

地域にゆかりのあるアーティストから寄贈を受けた約300点以上の作品を中心に、地域住民が文化芸術に触れ、感動する体験と豊かなこころを感じる場として2016年に開館しました。期間中は企画展「ANIMAL KINGDOM in福岡女子大学」を開催しています。



(住所) 〒810-0044 福岡市中央区六本松4-2-1  
 (電話) 092-731-2525 (FAX) 092-731-2530  
 (開館時間) 9:30~18:00  
 ※基本展示室 9:30~18:00(最終入場17:30)  
 ※ドームシアター(プラネタリウム)はHPの放映スケジュールを参照  
 (休館日) 火曜日(祝休日の時はよく平日)及び年末年始  
 (HP) <https://www.fukuokacity-kagakukan.jp/>

ミュージアム  
ウィーク  
期間中  
(休館日を除く)



リーフレット持参で、  
基本展示室団体料金適用かつ  
プラネタリウムスペシャル番組の  
観覧料を2割引

福岡市科学館は「人が育ち、未来をデザインしていく科学館」をコンセプトとしています。子どもから大人まで楽しみながら学べる科学館です。基本展示室では、宇宙、環境、生活、生命、未来がテーマの体験型展示や、サイエンスショーなどを楽しむことができます。九州最大級のドームシアター(プラネタリウム)では、自然に限りなく近い星空と臨場感あふれる映像・音楽で様々な番組をお届けします。



#### オンラインコンテンツ

#### 福岡市科学館 おうち de 科学館

おうちでできる実験などのコンテンツをご紹介します。

科学実験やものづくりのコンテンツだけでなく、頭上360度に広がるドームシアター(プラネタリウム)全天周映像や「いたるところに科学館長ツアー」の動画など様々なコンテンツを公開中です。ぜひご覧ください。  
 (URL) <https://www.fukuokacity-kagakukan.jp/news/2020/04/-de.html>

NEW

teamLab Forest

FUKUOKA

SBI証券



(住所) 810-8660福岡市中央区地行浜2-2-6  
 BOSS E-ZO FUKUOKA 5階  
 (電話) 092-400-0515 (お客様サポートセンター10~17時)  
 (開館時間) 平日11:00~20:00/土日祝10:00~20:00  
 (全日ともチケット購入19:15、入館は19:30まで)  
 (休館日) なし  
 (HP) <https://e-zofukuoka.com/>



ミュージアムウィーク期間中(休館日を除く)

リーフレットを  
3Fインフォメーションにご提示で  
大人200円引き 小人100円引き

チームラボフォレスト福岡は、アートコレクティブ・チームラボによる「捕まえて集める森」と「運動の森」からなる新しいミュージアムです。「捕まえて集める森」は、「捕まえ、観察し、解き放つ」をコンセプトに、自らの身体で探索し、発見し、捕まえ、そして、自ら捕まえたものをきっかけに興味を広げていくことを主眼とした新しい「学びの空間」です。スマートフォンを片手に探索し、様々な動物を捕まえ、観察し、自分のコレクション図鑑をつくっていきます。

「運動の森」は、「身体で世界を捉え、立体的に考える」をコンセプトに、空間認識能力を鍛える新しい「創造的運動空間」です。複雑で立体的な空間で、強い身体性を伴って、身体ごとインタラクティブな世界に没入します。